

兵庫 県
保険医協会

西宮 支部ニュース 芦屋

No. 362
2021・11・25

発行
連絡先
〒662-0832
兵庫県保険医協会 電話〇七八(三九三)一八〇一
兵庫県西宮市甲風園一―一―五 法貴皮膚科内
西宮・芦屋支部

リスクマネジメント研究会感想文

医学専門家としての毅然とした対応に感銘

乳腺外科医事件のこれまでの経過を報告

西宮・芦屋支部は10月30日、リスクマネジメント研究会「柳原病院乳腺外科医事件―秘匿された『職業せん妄』の医学と悲劇」を開催。実際に裁判にも関わったいつき会ハートクリニックの佐藤一樹先生を講師に招き、西宮市・半田医院の半田伸夫先生が司会を、大阪市・白水法律事務所 鶴飼万貴子弁護士がアドバイザーを務めた。会場とオンラインのハイブリット形式で開催し、医師ら38名(うちオンライン25名)が参加した。

以下、司会を務めた西宮市・半田医院の半田伸夫先生の感想文を掲載する。

*

同事件は、乳腺腫瘍摘出術を受けた患者Aが、術直後の回診に来た執刀医を、母親がカーテン越しにいる4人部

屋で、患者の乳房をなめまわし、挙句に自慰をしたと訴えたものである。同日に警察に訴え、患者の乳房から試料が採取された。警察は、その試料からアミラーゼの存在と、執刀医のDNAを得たとして刑事告発した。1審ではAが麻酔後覚醒時せん妄で性的幻覚を見たを判断し、無罪としたが、控訴審ではこれを覆し2年の実刑判決が下された。佐藤先生は、本件に発生当時から深くかわり、医療事件に詳しい弁護団の形成をしたり、医学的立場から多くの発言をしたりしてきた。

1審においても、術後せん妄において、患者がアダルト・グラビア・アイドルで、男性の性的情動をあおることを職業とすることから起こるであろう、職業せん妄の可能性を言及し続けてきた。これはせん妄状態では、自身の職業体験からくる妄想を容易に体験するもので、せん妄状態のお坊さんが、急に講話を始めたという例もある。ただ、1審、2審ともこの問題を論点としては取り上げなかった。

2審後、先生は法律雑誌(判例時報)に「乳腺外科医事件 控訴審逆手有罪―秘匿された職業せん妄の医学」のタイトルで論文を寄稿することなど、尽力され、ようやく来年1月の最高裁での論告再開が認められた。

真実を論理的に追及することの難しさ



参加者の疑問に答える佐藤先生



司会を務めた半田先生



アドバイザーを務めた鶴飼弁護士

世話人会だより

西宮・芦屋支部は10月22日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。3人が参加した。

- 【I. 最近の診療経験の交流】
- ・COVID-19診療
- ・新型コロナウイルスについて
- ・インフルエンザワクチンの供給状況についてなど

- 【II. 予定・企画】
- ①リスクマネジメント研究会(10・30)
- ②第40回支部総会
- ③第9回ファイアサイド・ディスカッション
- ④健康と医療について語り合う会

- 【III. 当面延期企画】
- ・近年開業医懇談会
- ・認知症外来診療経験交流会

- 【IV. 支部設立40周年記念企画】
- ①記念小冊子作成の検討など

- 【V. その他】
- ・一人になる「映画上映会」についてなど

*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。次回は11月26日(金)に予定しております。支部についての意見や企画案などを寄せください。

感染予防だけでなく「体を鍛える」ことが大切



講演後参加者からはたくさんの質問が寄せられた

健康と医療について語り合う会

11月7日西宮・若竹公民館にて、兵庫県聴覚障害者協会・兵庫手話通訳問題研究会主催で聴覚障害者の医療を考える会、「コロナ禍が続く生活で気をつけること」が開かれた。協会が西宮市・吉岡整形クリニックの吉

岡裕樹先生を講師として紹介し、市民36名が参加した。「コロナ禍のもとで感染拡大だけでなく、様々な活動が自粛を要請されるもと、体力低下や認知性を予防するために自分でできる体の鍛え方を中心に講演いただいた。

以下、参加された西宮手話サークルあゆみ会の水野都さんの感想を掲載する。

*

コロナ禍で大切なことは、基本的な感染対策+体を鍛えること。とても分かりやすいお話でした。「自分の体は自分で鍛える！誰もやってくれませんが」という先生の言葉が印象に残りました。紹介された、膝・腰を鍛える体操は私でも無理なく出来るようなので、少しずつやってみようと思います。

【西宮手話サークルあゆみ会

水野都】



議事後は診療経験など議論を深めた



開会の挨拶を行う法貴支部長

西宮・芦屋支部は11月13日(土)西宮市民会館において第41回西宮・芦屋支部総会を開催。世話人ら10人が参加した。今回の支部総会は昨年引き続き、現在の新型コロナウイルス感染症の市中の状況を鑑み、記念講演は行わず、議事のみの開催となった。支部総会では、林田英隆先生(西宮市・林田クリニック)が議長、法貴憲先生(西宮市・法貴皮膚科)が開会挨拶を務め、半田伸夫先生(西

宮市・半田医院)が2020年度活動報告・2021年度方針案を提案。全会一致で承認された。また、21・22年度の支部役員について、下記の役員名簿の先生を選出した。総会議事後には、新型コロナウイルス感染症について日常診療の経験を交流した。その中で2類相当指定であることにも触れ、現場と行政の認識の不一致や、指揮を執り行う行政が一元化されておらず、結果として現場を混乱させている実態などが交流された。

第41回支部総会

2021年度活動方針、新役員を選任など採択

西宮・芦屋支部
役員名簿(敬称略)

(支部長)

法貴憲

(副支部長)

伊賀幹二、加藤隆久

林田英隆、半田伸夫

広川恵一、村上博

(世話人)

岩下敬正、上田進久

川崎史寛、川野悦司

北垣幸央、坂尾将幸

佐々木健陽、多田梢

土山雅人、林功

藤森隆史、前田信証

三浦一樹、宮崎睦雄

宮崎義彦、森博雄

(相談役)

大森公一、堅田均

北井明、幸原久

法西浩、森下敬司

健康情報 テレホンサービス

0120-979-451

(24時間・通話料無料)



12月のテーマ

★3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。

URLは、<http://www.hhk.jp/>

左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

月曜日	水痘(水ぼうそう)と予防接種
火曜日	妄想性障害
水曜日	お薬手帳は貴重です-医師の立場から-
木曜日	Bell 麻痺(末梢性頑迷神経麻痺)
金土日	薬に頼らない不眠治療